

2016年6月24日
日本板硝子株式会社

世界初の長波長紫外線カットガラス開発に目処

当社は、自動車用ガラス向け紫外線カットガラスの新製品 **UV Protect 400™**の開発に取り組んでいます。**UV Protect 400™**は、皮膚深層部（真皮）にダメージを与えて皮膚のたるみ・ハリの低下・しわなどの原因となる紫外線 UVA の、長波長領域（380nm~400nm）を含んだ紫外線（300nm~400nm）を、約 99%カット*1する製品です。400nm までの紫外線を約 99%カットできるガラスは世界で初めてとなります。運転席付近のガラスだけでなく、後部座席周りのガラスでも 400nm までの紫外線を約 99%カットできるように開発を進めており、自動車全周での紫外線カットに対応可能です。

既存の紫外線カットガラスでは、380nm 波長以下の紫外線を約 99%カット*2することが可能となっており、日本国内市場向けの車種に標準採用されるなど、近年採用が拡大しています。紫外線 UVA の中でも長波長である 380nm~400nm の波長は、真皮の奥深くにまで到達することから、この波長域まで効果的に防ぐことが重要と考えています。

乗員の方全員に、より快適な車室内環境を提供することを目指し、製品化に取り組んでいます。



写真：既存紫外線カットガラスの検査工程

*1:当社測定値。ISO13837 基準

*2:当社測定値。ISO9050 基準

【ご参考：紫外線の種類（UVA・UVB・UVC）】

紫外線は、太陽光線のうち 400nm 以下の波長を指し、UVC（280nm 以下）、UVB（280nm~315nm）、UVA（315nm~400nm）に分類されます。このうち、地表に到達する紫外線は、UVB と UVA です。UVB は表皮に到達し、発熱や発赤などの炎症を引き起こし、日焼けやシミの原因となります。UVA は、皮膚深層部の真皮に到達し、皮膚のたるみ、ハリの低下、しわの原因となります。紫外線による肌の老化は「光老化」と呼ばれており、近年その予防が重要とされています。

以上